

## (7) 心臓

重症度分類及び治療指針を一括して下記の表に示した。

重症度分類	心電図	心超音波	自覚症状	治療
0 (Normal)	正常範囲	50<EF	特になし	要しない
1 (Mild)	薬物治療を要しない 不整脈、伝動異常	45<EF<50	NYHA I 度	食事療法
2 (Moderate)	治療を要する 不整脈、伝動異常	40<EF<45	NYHA II 度	心不全治療 不整脈治療
3 (Severe)	ペースメーカーの適応	EF<40	NYHA III 度	心不全治療 ペースメーカーの導入
4 (Very Severe)			NYHA IV 度	心不全治療 在宅酸素療法の導入

### NYHA分類：

- I 安静時に症状無く、日常生活の制限もない。
- II 安静時に症状無いが、易疲労感、動悸、呼吸苦、狭心痛などのため日常生活に軽度の制限がある。
- III 安静時に症状無いが、易疲労感、動悸、呼吸苦、狭心痛などのため日常生活に高度の制限がある。
- IV 苦痛なしにいかなる日常生活もできない。安静時に症状を有する場合もある。

免疫抑制療法に関しては、まだ、有効を示唆する報告のみで研究の域を超えていないと考えられる。

## (8) 関節

### 1. 大関節の評価 (関節重症度)

①左右の手首、肘、膝 (計6関節) の可動域を角度計により測定し、正常域の何%かを求めてポイントをつける。

ポイント	可動域 (%)
0	95%以上
1	75%以上～95%未満
2	50%以上～75%未満
3	25%以上～50%未満
4	25%未満

参考：関節正常可動域 手 160° 肘 150° 膝 130°

②次に、各関節のポイント数を合計して重症度を決定する。

重症度	ポイント数
0 (Normal)	0
1 (Mild)	1～3
2 (Moderate)	4～7
3 (Severe)	8以上

注意：可動域の制限は関節痛以外の原因、すなわち全身性強皮症による皮膚・関節軟部組織の硬化、あるいは骨の破壊・吸収に起因するものであること。

図1. 関節重症度分布および関節ポイントの平均

関節重症度	人数	男	女	肘point AV		手point AV		膝point AV	
				右	左	右	左	右	左
0 : Normal	12	2	10	0	0	0	0	0	0
1 : Mild	31	2	29	0.3	0.2	0.8	0.5	0.2	0.1
2 : Moderate	24	4	20	0.6	0.7	1.9	1.5	0.3	0.4
3 : Severe	7	1	6	1.1	1.1	2.9	2.9	0.9	1.0
総計	74	9	65						
平均				0.4	0.4	1.2	1.0	0.3	0.3

## 2. 手指関節の評価 (FTP重症度)

FTPの距離 (Finger to Palm distance) を測定して重症度を決定する。

重症度	FTP
0 (Normal)	0 mm
1 (Mild)	1~9 mm
2 (Moderate)	10~39 mm
3 (Severe)	40 mm以上

図2. 関節重症度およびFTP重症度分布

関節重症度	人数	手指重症度				FTP AV±SD (mm)
		0	1	2	3	
0: Normal	12	12	0	0	0	0
1: Mild	31	29	1	1	0	0.6±2.8
2: Moderate	24	18	1	5	0	4.4±9.0
3: Severe	7	0	0	3	4	36.1±11.6
総計	74	59	2	9	4	
平均						5.1±12.0

## 3. 総括

関節重症度においてsevereと判定された強皮症患者は11名であった。一方、FTP重症度でsevereと判定されたのは4名で、この4名は関節重症度基準案においてもsevereに包含された。よって、関節の評価は関節重症度のみでよいと考えた。

### 参考資料

#### 1. QOL評価表 (強皮症患者103人)

##### 質問項目

1. 排泄の後始末
2. コップで水を飲む
3. 箸、スプーンまたは自助具を使って食事をする
4. シャツを着る、脱ぐ
5. ズボンまたはスカートを着る、脱ぐ
6. 歯ブラシで歯を磨く
7. 顔を洗い、タオルで拭く
8. タオルを絞る

9. タオル、スポンジなどで背中を洗う
10. 椅子に腰掛ける
11. 足を投げ出して座る
12. 階段を昇降する
13. 屋外を移動する (杖、松葉杖、車椅子：使用するものに○)
14. 公共の乗り物を利用する (バスや電車)

質問項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
人数	1	2	1	5	3	2	2	16	10	0	5	5	0	5
% (103人中)	1.0%	1.9%	1.0%	4.9%	2.9%	1.9%	1.9%	15.5%	9.7%	0.0%	4.9%	4.9%	0.0%	4.9%

結果 (不可能と答えた人数および%)

## 2. 強皮症患者FTPとQOLのまとめ

### 総計

N=103

M : F=14 : 89

FTP Ave 4.0±9.1 mm

不可能な総項目数/人数/14項目=0.0395

1人あたりの不可能な項目数の平均=0.6±1.5

### 0≤FTP<10 mm

N=88

M : F=11 : 77

FTP Ave 0.2±0.9 mm

不可能な総項目数/人数/14項目=0.0154

1人あたりの不可能な項目数の平均=0.2±0.6

### 10≤FTP<20 mm

N=7

M : F=2 : 5

FTP Ave 15.4±2.8 mm

不可能な総項目数/人数/14項目=0.1429

1人あたりの不可能な項目数の平均=2.0±2.6

### 20≤FTP<30 mm

N=3

M : F=0 : 3

FTP Ave 24.3±3.8 mm

不可能な総項目数/人数/14項目=0.1667

1人あたりの不可能な項目数の平均=2.3±2.5

30≤FTP<40 mm

N=1

M:F=0:1

FTP Ave 35.0 mm

不可能な総項目数/人数/14項目=0.1429

1人あたりの不可能な項目数の平均=2.0

40≤FTP≤50 mm

N=4

M:F=1:3

FTP Ave 45.0±4.1 mm

不可能な総項目数/人数/14項目=0.2679

1人あたりの不可能な項目数の平均=3.8±4.5

	<u>0≤FTP&lt;10 mm</u>		<u>10≤FTP≤50 mm</u>	
N	88		15	
	FTP	不可能な項目数の平均	FTP	不可能な項目数の平均
AV	0.2	0.216	26.4	2.533
SD	0.9	0.556	13.2	2.998

P=0.0098

## (9) 血管

### a. 重症度分類

0 (Normal):	Normal
1 (Mild):	Raynaud's phenomenon
2 (Moderate):	Digital pitting ulcers
3 (Severe):	Other skin ulcerations
4 (Very Severe):	Digital gangrene

参考：東京大学医学部附属病院皮膚科学に4月受診した153名において

0 (Normal):	7名 (5%)
1 (Mild):	107名 (69%)
2 (Moderate):	17名 (11%)
3 (Severe):	20名 (13%)
4 (Very Severe):	2名 (2%)

### b. 治療指針

#### 1. 重症度の1に対しては

Ca blocker: diltiazem (ヘルベッサー®)、nifedipine (アダラート®)、nicardipine (ベルジピン®)

Beraprost sodium (ドルナー®、プロサイリン®)

Sarpogrelate hydrochloride (アンプラーグ®)

Limaprost alfadex (オパルモン®、プロレナール®)

ACE inhibitor, ARB: losartan (ニューロタン®)、captopril (カプトリル®)

Tocophenol nicotinate (ユベラニコチネート®、ユベラN®)

#### 2. 重症度の2、3または4に対しては上記に加えて

PGE1 静注 (リプル®、パルクス®、プロスタンジン®)

PGE1 静注に加えてagatroban (ノバスタン®) 静注

#### 3. なお重症度の2、3のulcerに対して

抗生剤含有軟膏 (ゲンタシン軟膏®など)

プロスタンジン軟膏®

ユーパスタ軟膏®

フィブラストスプレー®

## 〈付表〉 全身性強皮症・重症度分類のまとめ

臓器	0 (Normal)	1 (Mild)	2 (Moderate)	3 (Severe)	4 (Very Severe)
1. 全身一般	正常	体重5~9%減少	体重10~19%減少	体重20~29%減少	体重30%以上減少
2. 血管	正常	レイノー症状	指尖部の潰瘍	他の部位の皮膚潰瘍	指の壊疽
3. 皮膚	TSS = 0	TSS = 1~9	TSS = 10~19	TSS = 20~29	TSS 30以上
4. 関節	ポイント数 <sup>1</sup> = 0	ポイント数 = 1~3	ポイント数 = 4~7	ポイント数 8以上	—
5. 消化管					
上部消化管病変	正常	食道下部蠕動低下 <sup>2</sup> (自覚症状なし)	胃食道逆流症 (GERD) <sup>3</sup>	逆流性食道炎と それに伴う嚥下困難	食道狭窄による 嚥下困難
下部消化管病変	正常	自覚症状を伴う腸管病変 (抗菌薬服用を要しない)	腸内細菌過剰増殖 <sup>4</sup> のため 抗菌薬の服用が必要	偽性腸閉塞あるいは 吸収不良症候群 <sup>5</sup> を伴う	中心静脈栄養法 <sup>6</sup> が必要
6. 肺					
間質性肺疾患	肺の間質性変化なし <sup>6</sup>	肺の間質性変化あり <sup>6</sup> かつ%VC ≥ 80%	肺の間質性変化あり <sup>6</sup> かつ%VC 65~79%	肺の間質性変化あり <sup>6</sup> かつ%VC 50~64%	肺の間質性変化あり <sup>6</sup> かつ酸素吸入療法 または%VC < 50%
肺高血圧症	平均PA圧 ≤ 25 mmHg <sup>7</sup>	平均PA圧 > 25 mmHg <sup>7</sup> かつNYHA I <sup>8</sup>	平均PA圧 > 25 mmHg <sup>7</sup> かつNYHA II	平均PA圧 > 25 mmHg <sup>7</sup> かつNYHA III	平均PA圧 > 25 mmHg <sup>7</sup> かつNYHA IV
7. 心	心電図：正常 心超音波：50 < EF 自覚症状：特になし	治療を要しない不整脈、伝導障害 45 < EF < 50 NYHA I <sup>8</sup>	治療を要する不整脈、伝導障害 40 < EF < 45 NYHA II	ペースメーカーの適応 EF < 40 NYHA III	NYHA IV
8. 腎	正常	血清クレアチニン 0.9~1.2 mg/dl または尿蛋白 1~2+	血清クレアチニン 1.3~2.9 mg/dl または尿蛋白 3~4+	血清クレアチニン 3 mg/dl以上	血液透析を必要とする

TSS = modified Rodnan total skin thickness score, EF = ejection fraction.

<sup>1</sup>左右の手首、肘、膝（計6関節）の可動域を角度計により測定し、正常域の何%かを求めてポイントをつける（ポイント0：可動域95%以上、1：可動域75~95%、2：可動域50~75%、3：可動域25~50%）。<sup>2</sup>食道蠕動低下の評価：胃食道逆流症は、上部消化管造影で抗コリン剤を使用せず、食道下部の蠕動と拡張を観察し評価する。あるいは、胃排出や逆流現象を見る食道シンチグラフィーを用いて評価することも可能である。内視鏡を用いた逆流性食道炎の内視鏡分類も評価上重要である。<sup>3</sup>胃食道逆流症（GERD）はQOLを障害するような胸やけ症状が週2回以上出現するものとし、内視鏡的に食道炎が確認され、かつ嚥下困難（食べ物のつかえ感）を自覚する場合、3（Severe）とする。<sup>4</sup>腸内細菌叢の過剰増殖の評価：食物停滞に基づく腸内細菌異常増殖症候群は、腹部膨満感、頻回下痢、腹部レントゲン写真腸管ガス像の増加により診断する。<sup>5</sup>吸収不良症候群の評価栄養のアセスメント：平常時体重に対して1~2%/1週間、5%/1ヶ月、7.5%/3ヶ月、10%/6ヶ月以上の体重減少は栄養障害を疑う。また%標準時体重 = 現在の体重 / 標準体重を求め、同様な単位期間あたりの体重減少を評価する。Body mass Indexを用いて同様な変化を測定してもよい。血液生化学検査上、血清総蛋白濃度の変化、血清アルブミン、トランスフェリン値も参考となる。<sup>6</sup>胸部X線またはCTによる。<sup>7</sup>安静臥床時の右心カテーテル検査または心臓超音波検査による。<sup>8</sup>New York Heart Association Functional Classification (NYHA) I：安静時に症状はなく、日常動作の制限もない。II：安静時に症状はないが、易疲労感、動悸、呼吸苦、狭心痛などのため日常動作に軽度の制限がある。III：安静時に症状はないが、易疲労感、動悸、呼吸苦、狭心痛などのため日常動作に高度の制限がある。IV：苦痛なしにいかなる日常動作もできない。安静時に症状を有する場合もある。

#### IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

## 【書籍】

No.	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
1	竹原和彦, 佐藤伸一, 稲沖 真	強皮症	宮坂信之, 宮島 篤 編集	別冊・医学のあゆみ/サイトカイン	医歯薬出版	東京	2004	236-239
2	竹原和彦	ヒトアジュバント病	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図解シリーズ/膠原病/その他の膠原病	医薬ジャーナル社	大阪	2004	92-93
3	竹原和彦	病態 (含疫学)	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図解シリーズ/膠原病/全身性強皮症	医薬ジャーナル社	大阪	2004	6-9
4	石川 治, 橋本姿恵	小児の膠原病	総編集: 玉置邦彦, 編集: 飯塚 一, 清水 宏, 富田 靖, 宮地良樹, 橋本公二, 古江増隆,	最新皮膚科学体系特別巻 1号, 新生児・小児・高齢者の皮膚疾患	中山書店	東京	2004	158-166
5	石川 治	全身性強皮症	編集: 宮地良樹, 岩月啓氏	カラーアトラス 皮膚診断の技法, -皮膚を診ると全身が見える-	診断と治療社	東京	2004	260-261
6	佐藤伸一	診断	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図解シリーズ/膠原病/全身性エリテマトーデス	医薬ジャーナル社	大阪	2004	24-31
7	佐藤伸一	病因	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図解シリーズ/膠原病/全身性強皮症	医薬ジャーナル社	大阪	2004	10-15
8	佐々木哲雄	対症療法的治療	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図説シリーズ/膠原病/全身性強皮症	医薬ジャーナル社	大阪	2004	56-59
9	Muro Y, Sugimoto K	Autoimmunity in scleroderma	Edited by Meyers RA	Encyclopedia of Molecular Cell Biology and Molecular Medicine	WILEY-VCH	Weinheim	2004	481-502
10	室 慶直	皮膚筋炎・多発性筋炎 2) 症状・診断	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図説シリーズ/膠原病/その他の膠原病	医薬ジャーナル社	大阪	2004	28-35
11	尹 浩信	膠原線維の産生制御機構と病態への関与	総編集: 玉置邦彦, 編集: 飯塚 一, 清水 宏, 富田 靖, 宮地良樹, 橋本公二, 古江増隆,	最新皮膚科学大系 19 皮膚の発生・機能と病態	中山書店	東京	2004	168-174
12	尹 浩信	全身性強皮症/皮膚症状	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図説シリーズ/膠原病/強皮症	医薬ジャーナル社	大阪	2004	18-23
13	遠藤平仁	その他の症状/強皮症腎	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームドコンセントのための図説シリーズ/膠原病/全身性強皮症	医薬ジャーナル社	大阪	2004	34-37
14	遠藤平仁	混合性結合組織病・強皮症におけるステロイドの使い方	川合真一編	強皮症におけるステロイドの上手な使い方	永井書店	大阪市	2004	91-98
15	桑名正隆	抗リン脂質抗体症候群: 最近の進歩.	高久史磨, 溝口秀昭, 坂田洋一, 金倉謙, 小島勢二監修	Annual Review 血液 2005	中外医学社	東京	2005	275-284
16	桑名正隆	膠原病と原因不明の全身疾患 ヒトアジュバント病	高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次 矢監修	家庭医学大全科	法研	東京	2004	2901-2902
17	桑名正隆	膠原病と原因不明の全身疾患 強皮症	高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次 矢監修	家庭医学大全科	法研	東京	2004	2899-2901
18	桑名正隆	全身性強皮症, 肺症状	竹原和彦, 近藤啓文 編	インフォームド・コンセントのための図説シリーズ / 膠原病	医薬ジャーナル社	東京	2004	24-29
19	桑名正隆	免疫性血小板減少性紫斑病	池田康夫, 丸山征郎 監修	血小板生物学	メディカルレビュー社	大阪	2004	481-489

20	大塚 勤	皮膚の構造と機能	山崎雙次、山本浩嗣、 山根源之	歯科医のための皮膚科学	医歯薬出版	東京	2004	1-8
21	大塚 勤	皮膚科症候群 Miescher Ⅱ s granulomatosis	編集：玉置邦彦，編 集：飯塚 一，清水 宏，富田 靖，宮地 良樹，橋本公二，古 江増隆，	最新皮膚科学大系	中山書店	東京	2004	226-227
22	中嶋憲一	食道シンチグラフィによる食 道機能の評価	竹原和彦編	よくわかる強皮症のすべて	永井書店	東京	2004	142-147
23	山崎雅英	抗リン脂質抗体症候群	編集：竹原和彦，近 藤啓文	インフォームドコンセントの ための図説シリーズ/膠原病/ その他の膠原病	医薬ジャーナ ル社	大阪	2004	74-81
24	山崎雅英	抗リン脂質抗体症候群	編集：一ノ瀬白帝	図説 血栓・止血・血管学	中外医学社	東京		印刷中
25	Yamamoto T	Experimental mouse model of scleroderma: Induction by bleomycin.	Lawrence S. Chan	Animal Models of Human Inflammatory Skin Diseases.	CRC Press	USA	2004	535-547

【雑誌】

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻	ページ	出版年
1	Komura K, Sato S, Hasegawa M, Fujimoto M, <u>Takehara K</u>	Elevated circulating CD46L concentrations in patients with systemic sclerosis	J Rheumatol	31	514-519	2004
2	<u>Takehara K</u>	Treatment of early diffuse cutaneous systemic sclerosis patients in Japan by low-dose corticosteroids for skin involvement	Clin Exp Rheumatol	3	S87-S89	2004
3	Hayakawa I, Sato S, Hasegawa M, Echigo T, <u>Takehara K</u>	A case of scleroderma spectrum disorder with anticentriole antibody and pulmonary hypertension	Clin Rheumatol	23	266-268	2004
4	Hasegawa M, Sato S, <u>Takehara K</u>	Augmented production of transforming growth factor- $\beta$ by cultured peripheral blood mononuclear cells from patients with systemic sclerosis	Arch Dermatol Res	296	89-93	2004
5	Hayakawa I, Sato S, Echigo T, Shirasaki F, Hasegawa M, <u>Takehara K</u>	Improvement of skin sclerosis after occurrence of anticentromere antibody in a patient with diffuse cutaneous systemic sclerosis	Clin Rheumatol	23	345-347	2004
6	Hasegawa M, Sato S, Yanaba K, Komura K, Yamazaki M, <u>Takehara K</u>	Autoantibodies against phosphatidylserine-prothrombin complex in patients with systemic sclerosis	Ann Rheum Dis	63	1514-1517	2004
7	Hasegawa M, Sato S, Echigo T, Hamaguchi Y, Yasui M, <u>Takehara K</u>	Up-regulated expression of fractalkine in patients with systemic sclerosis	Ann Rheum Dis		in press	2004
8	Chujo S, Shirasaki F, Kawara S, Inagaki Y, Kimbara T, Inaoki M, Takigawa M, <u>Takehara K</u>	Connective Tissue Growth Factor Causes Persistent Pro $\alpha$ 2(I) Collagen Gene Expression Induced by Transforming Growth Factor- $\beta$ in a Mouse Fibrosis Model	J Cell Physiol		in press	2004
9	西島千博, 佐藤伸一, 小村一浩, 平田昭夫, <u>竹原和彦</u>	腎カラードップラーエコー法で, 腎血管抵抗の上昇を認めた抗RNAポリメラーゼ抗体陽性全身性強皮症の1例	日本皮膚科学会誌	114	49-53	2004
10	早川郁子, 佐藤伸一, <u>竹原和彦</u>	体幹・四肢のgeneralized morpheaに対してステロイド内服中に剣創状強皮症の新生をみた1例	臨床皮膚科	58	55-57	2004
11	<u>竹原和彦</u>	診断基準にない膠原病の皮膚病変 (教育講演 15)	日本皮膚科学会誌	114	2178-2179	2004
12	<u>竹原和彦</u>	全身性強皮症の治療法と予後の改善	皮膚科の臨床	46	345-350	2004
13	小村一浩, 築場広一, 長谷川稔, 佐藤伸一, <u>竹原和彦</u> , 安井正英	全身性強皮症に合併した間質性肺炎に対するシクロホスファミドパルス療法	日本皮膚科学会誌		印刷中	2004
14	Takeda, M., Mizuide, M., Oka, M., Watabe, T., Inoue, H., Suzuki, H., Fujita, T., Imamura, T., <u>Miyazono, K</u> and Miyazawa, K	Interaction with Smad4 is indispensable for suppression of BMP signaling by c-Ski	Mol Biol Cell	15	963-972	2004
15	Mochizuki, T., Miyazaki, H., Hara, T., Furuya, T., Imamura, T., Watabe, T., and <u>Miyazono, K</u> .	Roles for the MH2 domain of Smad7 in the specific inhibition of transforming growth factor- $\beta$ superfamily signaling	J. Biol. Chem	279	31568-31574	2004
16	Kondo, M., Cubillo, E., Tobiume, K., Fukuda, N., Suzuki, H., Takehara, K., Cano, A., Saitoh, M., and <u>Miyazono, K</u>	A role for Id in the regulation of TGF- $\beta$ -induced epithelial-mesenchymal transdifferentiation	Cell Death Differ	11	1092-1101	2004
17	Kondo, M., Suzuki, H., Takehara, K., <u>Miyazono, K</u> , and Kato, M	Transforming growth factor- $\beta$ signaling is differentially inhibited by Smad2D450E and Smad3D407E	Cancer Sci	95	12-17	2004
18	Suzuki, H., Yagi, K., Kondo, M., Kato, M., <u>Miyazono, K</u> , and Miyazawa, K	c-Ski inhibits the TGF- $\beta$ signaling pathway through stabilization of inactive Smad complexes on Smad-binding elements	Oncogene	23	5068-5076	2004

19	Komuro, A., Imamura, T., Saitoh, M., Yoshida, Y., Yamori, T., <u>Miyazono, K.</u> , and Miyazawa, K	Negative regulation of transforming growth factor- $\beta$ (TGF- $\beta$ ) signaling by WW domain-containing protein 1 (WWP1)	Oncogene	23	6914-6923	2004
20	Kuratomi, G., Komuro, A., Goto, K., Shinozaki, M., Miyazawa, K., <u>Miyazono, K.</u> , and Imamura, T	Neural precursor cell expressed, developmentally down-regulated 4-2 (NEDD4-2) negatively regulates transforming growth factor- $\beta$ (TGF- $\beta$ ) signaling by inducing ubiquitin-mediated degradation of Smad2 and TGF- $\beta$ type I receptor	Biochem J	385	1-10	2004
21	Shimizu A, Shimizu N, Tanaka A, Jinno-Oue A, Roy BB, Shinagawa M, <u>Ishikawa O</u> , Hoshino H	Human T cell leukaemia virus type I is highly sensitive to UV-C light	J Gen Virol	85	2397-406	2004
22	Sumino H, Ichikawa S, Abe M, Endo Y, <u>Ishikawa O</u> , Kurabayashi M	Effects of aging and menopause, and hormone replacement therapy on forearm skin elasticity in women	J Am Geriatr Soc	52	945-9	2004
23	Sumino H, Ichikawa S, Abe M, Endo Y, Nakajima Y, Minegishi T, <u>Ishikawa O</u> , Kurabayashi M	Effects of aging and postmenopausal hyperoestrogenism on skin elasticity and bone mineral density in Japanese woman	Endocrine J	51	159-64	2004
24	Takeuchi Y, Tamura A, Kamiya M, Suzuki K, <u>Ishikawa O</u>	Immunohistochemical analyses of p63 expression in normal human skin	Br J Dermatol	151	232-235	2004
25	Sogabe Y, Yasuda M, Yokoyama Y, Tamura A, Negishi I, Ohnishi K, Shinozaki T, <u>Ishikawa O</u>	Genetic analyses of two cases of Werner's syndrome	Eur J Dermatol	14	379-382	2004
26	Hashimoto C, Abe M, Onozawa N, Yokoyama Y, <u>Ishikawa O</u>	Acrogeria : a vascular disorder ?	Br J Dermatol	151	497-501	2004
27	Motegi S, Tamura A, Takeuchi Y, <u>Ishikawa O</u>	Senile Angioma-like eruption: a skin manifestation of intravascular large B cell Lymphoma	Dermatology	209	135-7	2004
28	Sibusawa Y, Tamura A, Mochiki E, Kamisaka, Kimura H, <u>Ishikawa O</u>	c-kit Mutation in generalized lentiginos associated with gastrointestinal stromal tumor	Dermatology	208	217-220	2004
29	坂内文男, 森 満, 石川 治, 遠藤秀治	臨床個人票を用いた強皮症と悪性腫瘍の検討	日本臨床免疫学会誌	27	402-406	2004
30	長谷川道子, 天野博雄, 江内田智子, 田村敦志, 石川 治	全身性強皮症に合併した顕微鏡的多発血管炎	臨床皮膚科	58	438-440	2004
31	片田桐子, 天野博雄, 田村敦志, 石川 治	多発性大腸潰瘍を生じた全身性強皮症	臨床皮膚科	58	218-220	2004
32	Hayakawa I, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Anti-DNA topoisomerase II $\alpha$ autoantibodies in localized scleroderma	Arthritis Rheum	50	227-232	2004
33	Nagai M, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Novel autoantibody to Cu/Zn superoxide dismutase in patients with localized scleroderma	J Invest Dermatol	122	594-601	2004
34	<u>Sato S</u> , Fujimoto M, Hasegawa M, Takehara K	Altered blood B lymphocyte homeostasis in systemic sclerosis: Expanded naive B cells and diminished but activated memory B cells	Arthritis Rheum	50	1918-1927	2004
35	Yanaba K, Takehara K, <u>Sato S</u>	Serum concentrations of soluble P-selectin glycoprotein ligand-1 are increased in patients with systemic sclerosis: association with lower frequency of pulmonary fibrosis	Ann Rheum Dis	63	583-587	2004
36	Yanaba K, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Comparative study of serum surfactant protein-D and KL-6 concentrations in patients with systemic sclerosis as markers for monitoring the activity of pulmonary fibrosis	J Rheumatol	31	1112-1120	2004
37	<u>Sato S</u> , Fujimoto M, Hasegawa M, Komura K, Yanaba K, Hayakawa I, Matsushita T, Takehara K	Serum soluble CTLA-4 levels are increased in diffuse cutaneous systemic sclerosis	Rheumatology	43	1261-1266	2004

38	Nishijima C, Hayakawa I, Matsushita T, Komura K, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Autoantibody against matrix metalloproteinase-3 in patients with systemic sclerosis	Clin Exp Immunol	138	357-363	2004
39	<u>Sato S</u> , Fujimoto M, Hasegawa M, Takehara K, Tedder TF	Altered B lymphocyte function induces systemic autoimmunity in systemic sclerosis	Mol Immunol	41	1123-1133	2004
40	Fujii H, Shimada Y, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Serum levels of a Th1 chemoattractant IP-10 and Th2 chemoattractants, TARC and MDC, are elevated in patients with systemic sclerosis	J Dermatol Sci	35	43-51	2004
41	Kodera M, Hayakawa I, Komura K, Yanaba K, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Anti-lipoprotein lipase antibody in systemic sclerosis: association with elevated serum triglyceride levels	J Rheumatol		in press	
42	<u>Sato S</u> , Kodera M, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K	Antinucleosome antibody is a major autoantibody in localized scleroderma	Br J Dermatol	151	1182-1188	2004
43	<u>Sato S</u> , Fujimoto M, Hasegawa M, Takehara K, Tedder TF	Altered B lymphocyte function induces systemic autoimmunity in systemic sclerosis	Mol Immunol	41	1123-1133	2004
44	Matsushita Y, Shimada Y, Kawara S, Takehara K, <u>Sato S</u>	Autoantibodies directed against the protease inhibitor calpastatin in psoriasis	Clin Exp Immunol	139	355-362	2005
45	山口由衣、佐々木哲雄、加納 豊	ペットのウサギが感染源と思われる Trichophyton mentagrophytes による眼瞼部白癬の1例	西日本皮膚科	66	34-36	2004
46	掛水夏恵、佐々木哲雄、長谷哲男	緑色腫	皮膚病診療	26	329-332	2004
47	綾部原子、山田正子、広門未知子、掛水夏恵、山川有子、佐々木哲雄、近藤 恵、池澤善郎	シクロスポリンAが奏効した壊疽性膿皮症の1例	皮膚科の臨床	46	771-774	2004
48	山田正子、広門未知子、福永有希、掛水夏恵、山川有子、公平昭男、佐々木哲雄、相原道子、国崎主税、池澤善郎	皮膚症状を契機に胃癌が発見された多形慢性痒疹の1例	皮膚科の臨床	46	1711-1713	2004
49	山口純子、山川有子、相原道子、牧 万里子、佐々木哲雄、柳 浩正、池澤善郎；	ヒト免疫グロブリンが奏効したTEN型薬疹の1例	日本皮膚アレルギー学会雑誌	11	87-93	2003
50	<u>佐々木哲雄</u>	特集：プライマリケア医が知っておきたい皮膚病診療のコツ、Q&A SLEと皮膚筋炎の皮疹の鑑別法を教えてください	治療	86	3227	2004
51	Watanabe A, Kodera M, Sugiura K, Usuda T, Tan EM, Takasaki Y, Tomita Y, <u>Muro Y</u>	Anti-DFS70 antibodies in 597 healthy hospital workers	Arthritis Rheum	50	892-900	2004
52	Sugiura K, <u>Muro Y</u> , Tomita Y	A case of a childhood linear scleroderma with limb asymmetry	Modern Rheumatol	14	254-256	2004
53	Ogawa Y, Sugiura K, Watanabe A, Kunimatsu M, Mishima M, Tomita Y, <u>Muro Y</u>	Autoantigenicity of DFS70 is restricted to the conformational epitope of C-terminal alpha-helical domain	J Autoimmun	23	221-231	2004
54	Okamoto M, Ogawa Y, Watanabe A, Sugiura K, Shimomura Y, Aoki N, Nagasaka T, Tomita Y, <u>Muro Y</u>	Autoantibodies to DFS70/LEDGF are increased in alopecia areata patients	J Autoimmun	23	257-266	2004
55	<u>Muro Y</u> , Tomita, Y	Anti-ribosomal-P antibodies in a Sjögren syndrome patient associated with lupus erythematosus	J Dermatol	31	811-814	2004
56	室 慶直	皮膚筋炎	皮膚科の臨床	46	1486-1491	2004

57	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Kubo M, Tamaki K	Impaired Smad7-Smurf-mediated negative regulation of TGF- $\beta$ signaling in scleroderma fibroblasts	J Clin Invest	113	253-264	2004
58	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Asano Y, Yamane K, Trojanowska M, Tamaki K	Tenascin-C upregulation by transforming growth factor- $\beta$ in human dermal fibroblasts involves Smad3, Sp1 and Ets-1	Oncogene	23	1656-1667	2004
59	Tsunemi Y, <u>Ihn H</u> , Saeki H, Tamaki K	A case of lichen sclerosus et atrophicus with marked fibrosis in the dermis: analysis of fibrogenetic cytokines by reverse transcriptase-polymerase chain reaction	J Dermatol	31	142-145	2004
60	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Kubo M, Tamaki K	Increased expression levels of integrin $\alpha$ v $\beta$ 5 on scleroderma fibroblasts	Am J Pathol	164	1275-1292	2004
61	Tsunemi Y, Saeki H, <u>Ihn H</u> , Tamaki K	Eosinophilic pustular folliculitis with a butterfly rash-like distribution	Dermatology	208	229-230	2004
62	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Jinnin M, Mimura Y, Tamaki K	Phosphatidylinositol 3-kinase is involved in $\alpha$ 2(I) collagen gene expression in normal and scleroderma fibroblasts <sup>1</sup>	J Immunol	172	7123-7135	2004
63	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Tamaki K	Epidermal growth factor induces fibronectin expression in human dermal fibroblasts via protein kinase C $\delta$ signaling pathway	J Invest Dermatol	122	1390-1398	2004
64	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Yazawa N, Asano Y, Yamane K, Tamaki K	Serum levels of manganese superoxidase dismutase in patients with localized scleroderma	Exp Dermatol	13	357-360	2004
65	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Asano Y, Yamane K, Yazawa N, Tamaki K	Serum matrix metalloproteinase-3 in systemic sclerosis	Arch Dermatol Res	296	25-29	2004
66	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Shikada J, Kadono T, Kikuchi K, Tamaki K	A case of peplomycin-induced scleroderma	Br J Dermatol	150	1213-1214	2004
67	Sato-Takeda M, <u>Ihn H</u> , Ohashi J, Tsuchiya N, Satake M, Arita H, Tamaki K, Hanaoka K, Tokunaga K, Yabe T, Yabe T	The human histocompatibility leukocyte antigen (HLA) haplotype is associated with the onset of postherpetic neuralgia after herpes zoster	Pain	110	329-336	2004
68	Tsunemi Y, <u>Ihn H</u> , Kakinuma T, Tamaki K	The lesional skin of linear IgA bullous dermatosis expresses growth-regulated peptide (GRO)- $\alpha$	J Dermatol	31	546-551	2004
69	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Asano Y, Yazawa N, Tamaki K	Serum levels of tissue inhibitor of metalloproteinase-1 and 2 in patients with eosinophilic facitis	Br J Dermatol	151	407-412	2004
70	Tsunemi Y, Tada Y, Saeki H, <u>Ihn H</u> , Tamaki K	Multiple dermatofibromas in a patients with systemic lupus erythematosus and Sjögrens syndrome	Clin Exp Dermatol	29	483-485	2004
71	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Tamaki K	Interleukin-13 stimulates the transcription of the human $\alpha$ 2(I) collagen gene in human dermal fibroblasts	J Biol Chem	279	41783-41791	2004
72	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Yazawa N, Tamaki K	Rheumatoid factor isotypes and anti-agalactoyl IgG antibodies in systemic sclerosis	Br J Dermatol	151	803-808	2004
73	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Mimura Y, Asano Y, Yamane K, Tamaki K	Regulation of fibrogenic/fibrolytic genes by platelet derived growth factor C, a novel growth factor, in human dermal fibroblasts	J Cell Physiol	202	510-517	2004
74	三村佳弘、神人正寿、浅野善英、山根謙一、矢澤徳仁、尹 浩信、玉置邦彦	角層下膿疱症を伴った汎発性強皮症の1例	皮膚科の臨床	46	105-107	2004
75	中村謙介、矢澤徳仁、鹿田純一郎、尹 浩信、菊池かな子、玉置邦彦	悪性症候群を合併した Coma Blister の1例	皮膚科の臨床	46	253-257	2004
76	浅野善英、久保正英、尹 浩信、前川武雄、鹿田純一郎、門野岳史、菊池かな子、玉置邦彦	大腸癌を合併し顔面の著明な色素沈着を伴った皮膚筋炎の1例	皮膚科の臨床	46	485-488	2004

77	岸本恵美、朝比奈昭彦、尹 浩信、大河内仁志、山本 基、織田弘美、玉置邦彦	関節リウマチに合併した Pseudo-Kaposi Sarcoma の 1 例	皮膚科の臨床	46	575-578	2004
78	藤田龍一、山根謙一、鹿田 純一郎、矢澤徳仁、尹 浩 信、玉置邦彦、三好秀征	食道狭窄に対しバルーン拡張術が奏効した汎発性強皮症の 1 例	皮膚科の臨床	46	723-726	2004
79	三村佳弘、中村謙介、山根 謙一、神人正寿、浅野善英、 尹 浩信、玉置邦彦	プレドニゾン内服が奏効した小児 Generalized Morphea の 1 例	皮膚科の臨床	46	727-729	2004
80	渡辺 玲、矢澤徳仁、多田 弥生、尹 浩信、鳥居秀嗣、 玉置邦彦	Morphea Profunda の 1 例	皮膚科の臨床	46	731-735	2004
81	中村謙介、矢澤徳仁、加藤 悦子、常深祐一郎、鹿田純 一郎、帆足俊彦、尹 浩信、 菊池かな子、玉置邦彦	腱鞘巨細胞腫の 2 例	皮膚科の臨床	46	1067-1070	2004
82	浅島信子、矢澤徳仁、南谷 洋策、尹 浩信、鳥居秀嗣、 玉置邦彦	治療効果判定に MRI が有効であった Morphea Profunda の 1 例	皮膚科の臨床	46	1195-1199	2004
83	浅島信子、藤本 学、神人 正寿、尹 浩信、菊池かな 子、高見沢 勝、玉置邦彦	特異な皮膚症状にて発見された高 IgM 症候群女児の 1 例	日本臨床免疫学会誌	27	350-355	2004
84	尹 浩信	手許に置きたい診断基準とその解説(抗リン脂質抗体症候群)	皮膚科の臨床	46	1524-1527	2004
85	神人正寿、尹 浩信	線維化のメカニズムと細胞外マトリックス代謝	週間医学のあゆみ	211	1033-1037	2004
86	Sato Y, Kitasato H, Murakami Y, Hashimoto A, Endo H, Kondo H, Inoue M, Hayashi I	Down-regulation of lipoxin A <sub>4</sub> receptor by thromboxan A <sub>2</sub> signaling in RAW264.7 cells in vitro and blemycin-induced lung fibrosis in vivo	Biochemie Pharmaco Therapy	58	381-387	2004
87	Ikeda Y, Hayashi I, kamoshita E, Yamazaki A, Endo H, Ishihara K, Yamashina S, Tsutsumi Y, Matsubara H, Majima M	Host stromal bradykinin B <sub>2</sub> receptor signaling facilitates tumor-associated angiogenesis and tumor growth	Cancer Res	64	5178-5185	2004
88	遠藤平仁、田中住明、坂井 美保	膠原病の難治性病態、肺高血圧症	日本臨床免疫学会誌	27	127-136	2004
89	遠藤平仁、吉田 秀、飯塚 進子、近藤啓文	急速に腎機能低下をきたす疾患の診かた、強皮症	腎と透析	56	353-356	2004
90	Kawaguchi Y, Takagi K, Hara M, Fukasawa C, Sugiura T, Nishimagi E, Harigai M, Kamatani N	Angiotensin II in lesional skin of systemic sclerosis patients contributes to tissue fibrosis via angiotensin II type 1 receptor	Arthritis Rheum	50	216-226	2004
91	Harigai M, Hara M, Kawamoto M, Kawaguchi Y, Sugiura T, Tanaka M, Nakagawa M, Ichida H, Takagi K, Higami-Ohsako S, Shimada K, Kamatani N, Kamatani N	Amplification of the synovial inflammation response through activation of mitogen-activated protein kinases and nuclear factor κB using ligation of CD40 on CD14+ synovial cells from patients with rheumatoid arthritis	Arthritis Rheum	50	2167-2177	2004
92	Nishimagi E, Kawaguchi Y, Tanaka E, Hara M, Kamatani N	Classification of systemic sclerosis in the Japanese population based on rapid progression of skin thickening	Modern Rheumatol	14	216-221	2004
93	Gotoh H, Kawaguchi Y, Harigai M, Hara M, Yamaguchi T, Shimada K, Saito S, Tomatsu T, Kamatani N	Increased CD40 Expression on Chondrocytes from Patients with Rheumatoid Arthritis: Contribution to Cytokines and Matrix Metalloproteinases Production	J Rheumatol	31	1506-1512	2004
94	Kawaguchi Y, McCarthy SA, Watkins SC, Wright TM	Autocrine activation by interleukin-1α induces the fibrogenic phenotype of systemic sclerosis fibroblasts	J Rheumatol	31	1946-1954	2004
95	Kawaguchi Y	Biological roles of cytokines in tissue fibrosis and vascular damage in systemic sclerosis	Connective Tissue	36	217-222	2004

96	Hirakata M, Suwa A, Kuwana M, Sato S, Mimori T, Hardin JA	Association between autoantibodies to the Ku protein and DPB1	Arthritis Rheum	52	668-669	2005
97	Kuwana M, Matsuura E, Kobayashi K, Okazaki Y, Kaburaki K, Ikeda Y, Kawakami Y	Binding of $\beta_2$ -glycoprotein I to anionic phospholipids facilitates processing and presentation of a cryptic epitope that activates pathogenic autoreactive T cells	Blood	105	1552-1557	2005
98	Satoh T, Kimura K, Okano Y, Hirakata M, Kawakami Y, Kuwana M	Lack of circulating autoantibodies to bone morphogenetic protein receptor-II or activin receptor-like kinase 1 in mixed connective tissue disease patients with pulmonary arterial hypertension	Rheumatology	44	192-196	2005
99	Ioannidis JPA, Vlachoyiannopoulos PG, Haidich AB, Medsger TA Jr, Lucas M, Michet CJ, Kuwana M, Yasuoka H, van den Hoogen F, te Boome L, van Laar JM, Verbeet NL, Cerinic MM, Georgountzos A, Moutsopoulos HM	Mortality in systemic sclerosis: an international meta-analysis of individual patient data	Am J Med	118	2-10	2005
100	Yasuoka H, Okazaki Y, Kawakami Y, Hirakata M, Inoko H, Ikeda Y, Kuwana M	Autoreactive CD8+ cytotoxic T lymphocytes to major histocompatibility complex class I chain-related molecule A in patients with Behçet's disease	Arthritis Rheum	50	3658-3662	2004
101	Kuwana M	$\beta_2$ -glycoprotein I: antiphospholipid syndrome and T-cell reactivity	Thromb Res	114	347-355	2004
102	Kuwana M, Okazaki Y, Yasuoka H, Kawakami Y, Ikeda Y	Defective vasculogenesis in systemic sclerosis	Lancet	364	603-610	2004
103	Kobayashi H, Hosono O, Iwata S, Kawasaki H, Kuwana M, Tanaka H, Dang NH, Morimoto C	The tetraspanin CD9 is preferentially expressed on the human CD4+CD45RA+ naive T cell population and is involved in T cell activation	Clin Exp Immunol	137	101-108	2004
104	Satoh T, Pandey JP, Okazaki Y, Yasuoka H, Kawakami Y, Ikeda Y, Kuwana M	Single nucleotide polymorphisms of the inflammatory cytokine genes in adults with chronic immune thrombocytopenic purpura	Br J Haematol	124	796-801	2004
105	桑名正隆	CD40 および CD40 リガンド	臨床免疫	43	39-46	2005
106	鍋木淳一, 桑名正隆, 亀田秀人, 竹内勤, 岡田純, 片山雅夫, 吉田俊治, 池田康夫	SLE・SLE 疑診例におけるループスアンチコアグランド測定の臨床的意義	日本醫事新報	4208	25-28	2004
107	桑名正隆	Helicobacter pylori 感染と特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)	感染・炎症・免疫	34	51-53	2004
108	桑名正隆	肺線維症の発症機序	医学のあゆみ	211	1063-1067	2004
109	桑名正隆, 池田康夫	ITP の免疫学的発症機序とそれに基づいた診断基準作成の試み	血液フロンティア	14	25-33	2004
110	桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑病における自己抗体産生の分子機構とその制御	分子細胞治療	3	27-31	2004
111	棚井千春, 壹岐聖子, 中原史雄, 飯島喜美子, 白杵憲祐, 桑名正隆, 浦部晶夫	Rituximab が有効であった難治性特発性血小板減少性紫斑病	臨床血液	45	1181-1186	2004
112	桑名正隆, 池田康夫	特発性血小板減少性紫斑病	Molecular Medicine	41	1535-1541	2004
113	桑名正隆	自己免疫疾患の遺伝子学	最新医学	59	78-92	2004
114	安岡秀剛, 桑名正隆	強皮症患者由来線維芽細胞で発現される新規自己抗原	臨床免疫	42	214-217	2004
115	桑名正隆	膠原病の難治性病態 -呼吸器 (肺高血圧症を除く) -	日本臨床免疫学会誌	27	118-126	2004
116	桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑病の分子病態	炎症と免疫	12	16-23	2004
117	桑名正隆	抗 RNA ポリメラーゼ抗体と強皮症	炎症と免疫	12	48-55	2004
118	桑名正隆	ITP の発症機序とあらたな治療戦略	医学のあゆみ	209	93-97	2004

119	<u>Fujimoto M</u> , Hamaguchi Y, Yazawa N, Komura K, Takehara K, Sato S	Autoantibodies to a collagen-specific molecular chaperone, heat-shock protein 47, in systemic sclerosis	Clin Exp Immunol	138	534-539	2004
120	Asano N, <u>Fujimoto M</u> , Yazawa N, Shirasawa S, Hasegawa M, Okochi H, Tamaki K, Tedder TF, Sato S.	B lymphocyte signaling established by the CD19/CD22 loop regulates autoimmunity in the tight-skin mouse	Am J Pathol	165	641-650	2004
121	Poe JC, Fujimoto Y, Hasegawa M, Hass KM, Sanford I, Bock CB, <u>Fujimoto M</u> , Tedder TF.	CD22 regulates B lymphocyte function in vivo through both ligand-dependent and -independent mechanisms	Nature Immunol	5	1078-1087	2004
122	<u>藤本 学</u> , 佐藤伸一	線維化と自己免疫の接点	医学のあゆみ	211	1045-1050	2004
123	<u>渡辺 玲</u> , <u>藤本 学</u>	自己免疫疾患における B 細胞シグナル伝達異常	臨床免疫	41	566-573	2004
124	林太智, <u>後藤大輔</u> , 住田孝之	臨床免疫学 (下) -基礎研究の進歩と最新の臨床- 膠原病における抗サイトカイン療法	日本臨床		in press	2005
125	<u>稲垣 豊</u> , 岡崎 勲	肝線維化の分子機構とその制御	医学のあゆみ	211	1069-1072	2004
126	<u>岡崎 勲</u> , <u>渡辺 哲</u> , <u>稲垣 豊</u>	肝線維化のメカニズムと新たな治療アプローチ	Hhepaloday	5	3-5	2004
127	Sugioka Y, Watanabe T, <u>Inagaki Y</u> , Kushida M, Niioaka M, Endo H, Higashiyam R, Okazaki I	c-Jun NH <sub>2</sub> -terminal kinase pathway is involved in constitutive matrix metalloproteinase-1 expression in a hepatocellular carcinoma-derived cell line	Int J Cancer	109	867-874	2004
128	<u>Ohtsuka T</u> , Yamazaki S.	Increased presence of parvovirus B19 DNA in patients with systemic sclerosis skin	Br J Dermatol	150	1091-1095	2004
129	<u>Ohtsuka T</u> , Yamazaki S.	The prevalence of human cytomegalovirus DNA in scleroderma skin tissue	Int J Dermatol		in press	
130	<u>Ohtsuka T</u> , Yamazaki S.	Alteration of human parvovirus B19 component gene in systemic sclerosis skin tissue	Br J Dermatol		in press	
131	<u>Ohtsuka T</u>	Reply to Dr. Ferri et al "Parvovirus B19 and systemic sclerosis"	Br J Dermatol		in press	
132	<u>Ohtsuka T</u> , Yamazaki S.	Prevalence of human parvovirus B19 component NS gene 1 in patients with Henoch-Shoenlein purpura and hypersensitivity vasculitis	Br J Dermatol		in press	
133	Okita H, <u>Ohtsuka T</u> , Yamazaki S.	Flow-cytometric DNA analysis in cutaneous fibrohistiocytictumors	Dermatology	207	357-361	2004
134	Hama N, <u>Ohtsuka T</u> , Yamazaki S.	Elevated amount of human papilloma virus 31 DNA in a squamous cell carcinoma developed from bowenoid papulosis	Dermatology		in press	
135	Kyogoku C, <u>Tsuchiya N</u> , Wu H, Tsao BP, Tokunaga K	Association of Fcγ receptor IIA, but not of IIB and IIIA, polymorphisms with systemic lupus erythematosus: A family-based association study in Caucasians	Arthritis Rheum	50	671-673	2004
136	Sakurai D, <u>Tsuchiya N</u> , Yamaguchi A, Okaji Y, Tsuno NH, Kobata T, Takahashi K, Tokunaga K	Crucial role of inhibitor of DNA binding/differentiation in the vascular endothelial growth factor-induced activation and angiogenic processes of human endothelial cells <sup>1</sup>	J Immunol	173	5801-5809	2004
137	Hitomi Y, <u>Tsuchiya N</u> , Kawasaki A, Kyogoku C, Ohashi J, Suzuki T, Fukazawa T, Bejrachandra S, Siriboonrit U, Chandanayingyong D, Suthipinittharm P, Tsao BP, Hashimoto H, Honda Z, Tokunaga K	CD72 polymorphisms associated with alternative splicing modify susceptibility to human systemic lupus erythematosus through epistatic interaction with FCGR2B	Hum Mol Genet	13	2907-2917	2004
138	<u>Tsuchiya N</u> , Kuroki K, Fujimoto M, Murakami Y, Tedder TF, Tokunaga K, Takehara K, Sato S:	Association of functional CD19 polymorphism with susceptibility to systemic sclerosis	Arthritis Rheum	50	4002-4007	2004

139	<u>Nakajima K</u> , Kawano M, Kinuya K, Sato S, Takehara K, Tonami N.	The diagnostic value of oesophageal transit scintigraphy for evaluating the severity of oesophageal complications in systemic sclerosis	Nucl Med Commun	25	375-81	2004
140	Asakura H, Sano Y, Yoshida T, Omote M, Ontachi Y, Mizutani T, Kaneda M, <u>Yamazaki M</u> , Morishita E, Takami A, Miyamoto KI, Nakao S	Beneficial effect of low-molecular-weight heparin against LPS-induced DIC in rats is abolished by co-administration of tranexamic acid	Intensive Care Med	30	1950-1955	2004
141	Asakura H, Sano Y, <u>Yamazaki M</u> , Morishita E, Miyamoto KI, Nakao S	Role of fibrinolysis in tissue-factor-induced DIC in rats: an effect of tranexamic acid on this model	Haematologica	89	757-758	2004
142	Asakura H, Sano Y, Omote M, Yoshida T, Ontachi Y, Mizutani T, Kaneda M, <u>Yamazaki M</u> , Morishita E, Takami A, Miyamoto KI, Nakao S	Significance of decreased plasma D-dimer levels following lipopolysaccharide-induced DIC in rats	Int J Hematol	79	394-399	2004
143	Suga Y, Asakura H, Yoshida T, Omote M, Ontachi Y, Mizutani T, <u>Yamazaki M</u> , Morishita E, Nakao S, Miyamoto Ken-ichi	Relationship between endothelin and the pathophysiology of tissue factor-induced and lipopolysaccharide-induced disseminated intravascular coagulation in rats: a study examining the effect of an endothelin receptor antagonist	Blood Coagulat Fibrinol	15	593-598	2004
144	折戸三智子, 吉田知孝, 奥村廣和, <u>山崎雅英</u> , 高見昭良, 山中慎一, 朝倉英策, 中尾眞二	APL様の凝固異常と特異な形態を呈したAMLの1例	日本検査血液学会雑誌	5	176-182	2004
145	<u>山崎雅英</u> , 舟田 久	酸化ストレスと感染症	酸化ストレスナビゲーター		印刷中	
146	<u>Yamamoto T</u> , Nishioka K	Possible role of apoptosis in the pathogenesis of bleomycin-induced scleroderma	J Invest Dermatol	122	44-50	2004
147	<u>Yamamoto T</u> , Nishioka	Animal model of sclerotic skin. VI: Evaluation of bleomycin-induced skin sclerosis in nude mice	Arch Dermatol Res	295	453-456	2004
148	<u>Yamamoto T</u>	Characteristic of animal models for scleroderma	Curr Rheumatol Rev	1	101-109	2005
149	<u>Yamamoto T</u> , Nishioka K	Cellular and molecular mechanisms of bleomycin-induced murine scleroderma: Current update and future perspective	Exp Dermatol	14	81-95	2005

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発  
平成16年度 総括・分担研究報告書

発行 平成17年3月

発行所 強皮症調査研究班事務局  
金沢大学大学院医学系研究科  
血管新生・結合組織代謝学(皮膚科学)内  
〒920-8641 石川県金沢市宝町13番1号  
TEL 076-265-2343 FAX 076-234-4270